

プリント図案を描く

プリント図案はインクジェットプリントでもない限り

通常工場に発注する場合は色数に制限がある。

また、インクジェットは、スクリーン、マシン、ロータリー等の
プリント技法と比較して加工賃が10倍近く高い場合もある。

一般的には色数が多い程、型の枚数が増しコストが高くなる。

大抵のメーカーの場合は色数を少なく

コストを抑えるというのが鉄則である。

Photoshop で加工した画像からスポイトで色を抽出して色窓を予め作成しておく。

色窓の作成方法は長方形ツールで四角形を作りスポイトツールで使用する色を

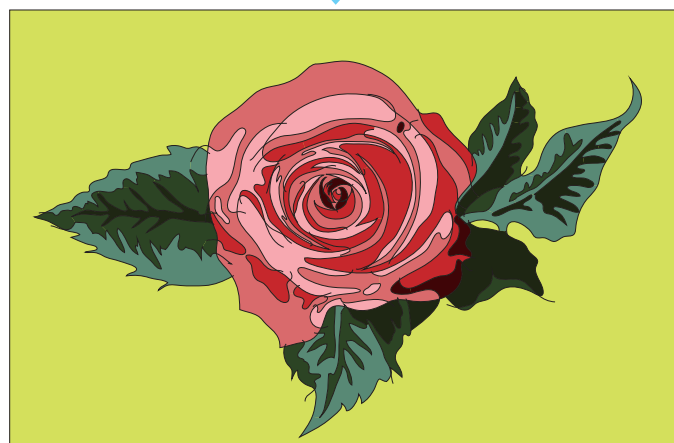
元の画像からクリックすれば良い。

次に画像全体を選択ツールで囲った後

ライブペイントツールで Alt を押しながら色窓をクリックする

(Alt を押しながらクリックすればスポイトになる)

色を拾ったらライブペイントツールで線描きしたイラストに着色する。

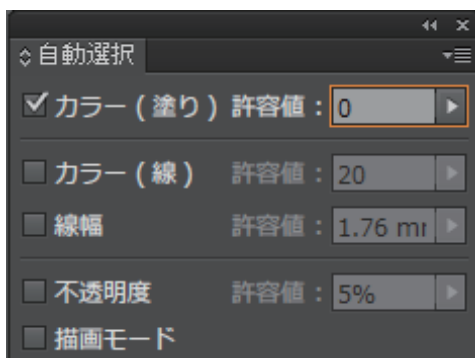


着色が済んだらツールから線の色を無しにして、
最後にメニューバーから拡張を押す。

塗り残しの確認は背景に全く異なる色の四角形を作っておくと分かりやすい。
(この四角形はトレースする下のレイヤーに置きロックしておく)



色変え方法は自動選択ツールを使用 (詳しくは5ページ参照)



自動選択ダブルクリックで
カラーにチェック
許容値0に設定する。
色窓をクリックすれば
同色の部分が全て選択されるので
カラーパネルから色を変更すれば良い。